

■インド：10年ぶりに選挙交代か、電力部門は引き続き重要課題

インドで下院の任期満了に伴う総選挙が2014年4月から5月にかけて実施され、5月16日に一斉に開票される。現地報道は、最大野党のインド人民党（BJD）を中心とする国民民主連合（NDA）が過半数の議席（272議席）を獲得すると見込まれ、10年ぶりに政権が交代すると予想している。いずれの党も、電力不足問題への対応を選挙公約のひとつに取り上げている。BJDは選挙公約で、発電、配電部門を改革して、安価な料金で電力を提供するための新しいエネルギー政策を公表すると明言している。